

平成 30 年 11 月 15 日

岩手県知事 達 増 拓 也 様

岩手県総合計画審議会

会長 岩 渕 明



次期総合計画の基本的方向に関する答申について

平成 29 年 11 月 8 日付け政推第 235 号をもって当審議会に対し諮問がありました標記について、別添の「岩手県次期総合計画の基本的方向について(答申)」のとおり、答申します。

この答申は、平成 30 年 6 月 11 日に開催された第 84 回岩手県総合計画審議会における中間答申を踏まえ、その後県が実施した地域説明会やパブリックコメントなどを通じていただいた県民の皆様をはじめとする多様な主体からの御意見も参考にしながら、諮問以来、本日の第 86 回審議会まで延べ 22 回にわたる審議会及び各部会における審議を経て、取りまとめたものです。

知事におかれましては、この答申を踏まえ、次期総合計画を策定されるとともに、基本目標である「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を実現していくためには、県はもとより、県民、企業、NPO、市町村など、地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持って行動していくことが必要であることから、様々な機会を捉え、広く計画の周知を図り、多くの県民の参画のもとで計画を推進されるよう期待します。